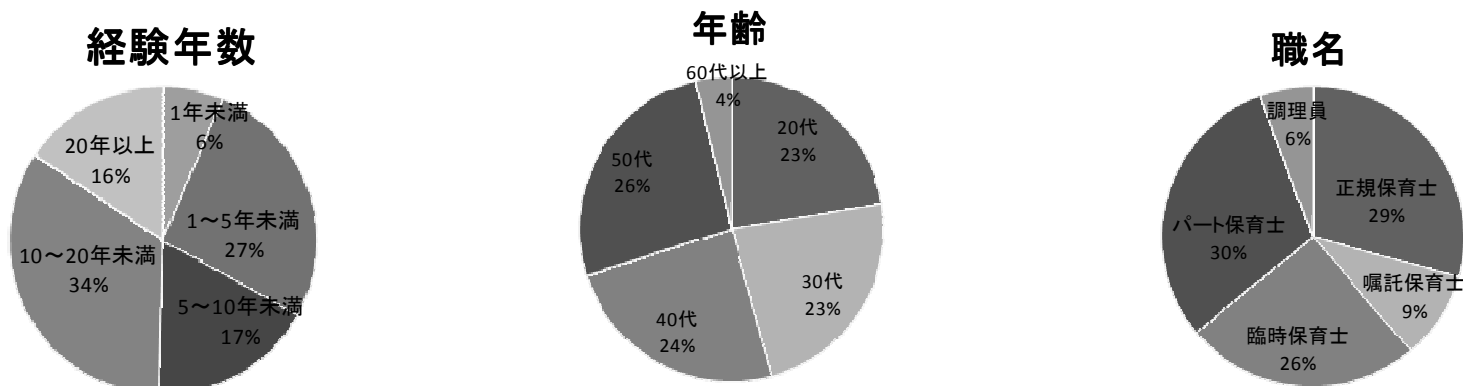


「子ども・子育て新システム」についてアンケートを実施しました!

政府は「待機児童解消」を名目に、新たに「子ども・子育て新システム」を発表しましたが、保育関係者から危惧の声が上がっています。日本共産党市議団として、実際に保育にかかわる保育士さんたちの声を聞くため、このほど公立保育所で働くすべてのみなさんにアンケートをお願いしました。(2011/2月)

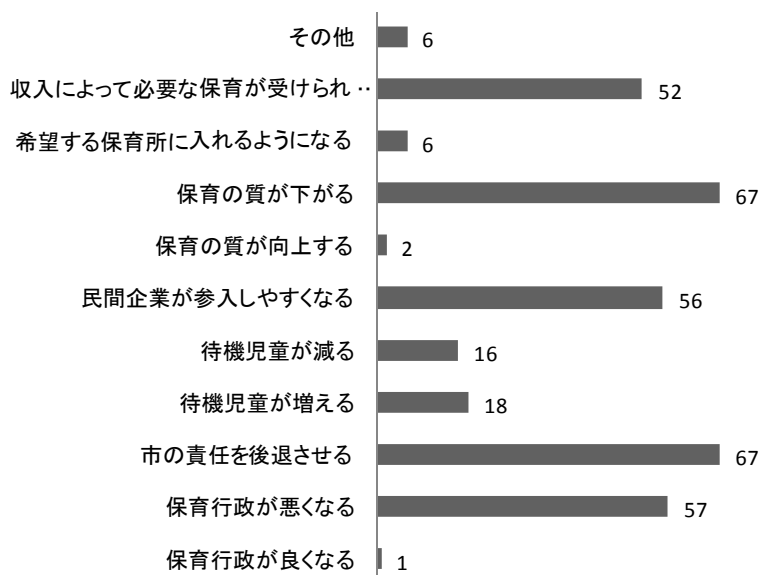
110人の方からアンケートが寄せられましたので、集計してみなさんに結果をお知らせします。(14%回収) 市議団でもアンケート結果や寄せられた意見を、今後の議会活動に活用し西宮市の保育行政をさらに充実させるために頑張ります。ご協力ありがとうございました。



1、子ども・子育て「新システム」について次のことを知っていますか



2、「新システム」で保育がどうかかわると思いますか



3、「新システム」についての意見

- ・収入によって保育が受けられない子どもがでてくるのはおかしい。お金があり、たくさん出した人にはよい保育が受けられ、そうでない人は受けられないというのは・・・
- ・福祉に民間や利益を追求すると、そのしわ寄せは利用者(子どもやお年寄り弱者)に来ると思う。
- ・新システムは子どものことを考えていません。将来日本をつくっていく子どもたちを大切にしないなんて、何を考えてるんだろうと思います。
- ・色々な面で保育士も保護者も負担が重くなる。市がもっと責任を持つべきだと思う
- ・契約できずに保育所に入れなかった子どもと親はどうしたらよいのですか。

4、保育事業について、困っていること、改善すべきこと、要望など

- ・よりよい保育ができるよう保育士の配置人数を増やしてほしい。
- ・子ども保護者に対しても一人ひとり手厚い援助が必要、そのことに対応していくことがむずかしい。
- ・正規保育士と同じ仕事をしている臨時保育士の給料や休暇など正規並にしてほしい。
- ・公立保育所をもっと増やすべき。
- ・子どもが狭い空間に多すぎる。
- ・正規保育士は減っているのに地域支援事業など業務は増える。保育士が疲れ果てて辞めていく。

上記記述は自由意見の抜粋